

I 調査の概要

1 調査の目的

この調査は、本県における健康および栄養に関する現状と課題を把握し、健康づくり、栄養・食生活改善に関する施策の基礎資料を得ることを目的に実施した。

2 調査の対象及び客体

対象（母集団）は、千葉県内の世帯及び世帯員とした。

客体（調査対象）は、平成21年及び平成22年国民生活基礎調査区として千葉県内に設定された396単位区内（平成22年国民健康・栄養調査指定区を除く）から層化無作為抽出した19単位区に、平成22年国民健康・栄養調査区として厚生労働大臣から指定された14単位区を加えた33単位区内の世帯（666世帯）及び世帯員（満1歳以上、1,843人）とした。

なお、在宅患者で疾病等の理由により流動状の食品や薬剤のみを摂取又は投与されている者、調査期間を通じて食生活を共にしていない者（出張、入院、就業及び就学等の理由により、日常生活上の経済関係があっても生活上の本拠を一定地に移し生活している者）は調査対象者から除外した。

二次医療圏	保健所	調査対象世帯数 (世帯)	実施世帯数 (世帯)	調査対象者数 (人)	調査実施者数 (人)	各調査の実施者数			
						栄養摂取状況 (人)	身体状況 (人)	生活習慣① (人)	生活習慣② (人)
千葉	千葉市	23	14	45	36	28	32	23	23
東葛南部	習志野	44	39	110	98	93	91	80	81
	市川	37	21	71	46	36	32	37	37
	船橋市	26	17	56	29	23	22	24	24
	小計	107	77	237	173	152	145	141	142
東葛北部	松戸	53	37	121	82	64	76	70	70
	野田	40	29	124	96	73	82	70	66
	柏市	23	10	73	36	24	24	27	29
	小計	116	76	318	214	161	182	167	165
印旛	印旛	57	41	180	123	79	107	92	93
香取海匝	香取	41	35	123	110	99	100	85	85
	海匝	50	39	141	102	68	95	92	92
	小計	91	74	264	212	167	195	177	177
山武長生夷隅	山武	47	37	125	106	95	100	94	94
	長生	51	47	151	133	122	125	109	107
	夷隅	38	34	101	90	79	79	68	69
	小計	136	118	377	329	296	304	271	270
安房	安房	30	26	97	89	76	79	87	87
君津	君津	53	34	183	121	103	106	73	73
市原	市原	53	41	142	125	120	116	88	87
総数		666	501	1,843	1,422	1,182	1,266	1,119	1,117

3 解析対象客体の概要

(1) 調査世帯数

無作為抽出された対象世帯数666世帯で、そのうち調査実施世帯数は、501世帯である。

(2) 年齢階級別状況（対象者数）

栄養摂取状況調査、身体状況調査、生活習慣調査における実施者数は、1,422人でありそれを解析対象者とした。

(調査項目、性・年齢階級別)

		総数	1-6 歳	7-14 歳	15-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70歳 以上
全体	調査実施者総数	1,422	54	104	72	124	171	182	205	226	284
	栄養摂取状況調査	1,182	44	92	57	95	128	152	184	191	239
	身体状況調査	1,266	11	95	64	101	148	165	196	217	269
	身長・体重計測	1,244	11	95	62	95	144	160	196	214	267
	腹囲計測	1,177	11	88	56	91	134	150	192	201	254
	運動習慣	1,245	11	95	62	95	144	160	196	214	268
	歩数	1,035	-	-	57	89	132	153	183	194	227
	生活習慣調査①	1,119	-	-	-	106	152	174	199	219	269
	生活習慣調査②	1,117	-	-	-	109	151	174	198	217	268
男性	調査実施者総数	701	30	48	36	72	82	82	114	112	125
	栄養摂取状況調査	576	26	44	28	55	58	66	99	93	107
	身体状況調査	609	7	44	33	55	70	69	107	105	119
	身長・体重計測	599	7	44	32	52	68	66	107	105	118
	腹囲計測	567	7	40	28	51	62	62	106	100	111
	運動習慣	599	7	44	32	52	68	66	107	105	118
	歩数	499	-	-	31	50	62	63	99	93	101
	生活習慣調査①	542	-	-	-	61	72	75	108	107	119
	生活習慣調査②	541	-	-	-	62	71	75	108	107	118
女性	調査実施者総数	721	24	56	36	52	89	100	91	114	159
	栄養摂取状況調査	606	18	48	29	40	70	86	85	98	132
	身体状況調査	657	4	51	31	46	78	96	89	112	150
	身長・体重計測	645	4	51	30	43	76	94	89	109	149
	腹囲計測	610	4	48	28	40	72	88	86	101	143
	運動習慣	646	4	51	30	43	76	94	89	109	150
	歩数	536	-	-	26	39	70	90	84	101	126
	生活習慣調査①	577	-	-	-	45	80	99	91	112	150
	生活習慣調査②	576	-	-	-	47	80	99	90	110	150

※-は当該項目の調査対象外である。

(二次医療圏、性・年齢階級別)

		総数	1-6 歳	7-14 歳	15-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70歳 以上
千葉	男	21	2	3	1	3	3	3	3	2	1
	女	15	1	2	2	1	2	3	0	2	2
東葛南部	男	84	5	5	2	10	8	8	15	13	18
	女	89	2	8	2	4	9	13	11	15	25
東葛北部	男	107	6	6	7	12	15	11	18	13	19
	女	107	4	5	5	12	14	12	16	14	25
印旛	男	65	0	5	4	4	4	11	10	16	11
	女	58	0	7	2	3	10	9	3	15	9
香取海匝	男	97	4	4	1	6	13	11	16	15	27
	女	115	3	10	5	5	11	10	15	19	37
山武長生 夷隅	男	156	3	7	9	18	16	17	27	32	27
	女	173	4	8	10	18	16	27	25	31	34
安房	男	41	0	1	1	6	5	2	7	7	12
	女	48	3	3	2	0	7	5	4	8	16
君津	男	67	3	9	7	9	9	6	10	8	6
	女	54	2	3	4	5	6	11	10	8	5
市原	男	63	7	8	4	4	9	13	8	6	4
	女	62	5	10	4	4	14	10	7	2	6
総数	男	701	30	48	36	72	82	82	114	112	125
	女	721	24	56	36	52	89	100	91	114	159

(性別、職業別)

	総数	専門的・技術 的職業従事者	管理的職業 従事者	事務 従事者	販売 従事者	サービス職業 従事者	保安職業 従事者	農業 従事者
総数	1,422	107	38	105	74	89	18	61
男性	701	59	34	34	37	38	18	38
女性	721	48	4	71	37	51	0	23

	漁業 従事者	林業 従事者	運輸・通信 従事者	生産工程・ 労務従事者	家事 従事者	その他 無職	保育園児	幼稚園児
総数	5	0	33	130	219	205	9	19
男性	5	0	29	96	6	129	3	15
女性	0	0	4	34	213	76	6	4

	その他の 幼児	小学校 低学年	小学校 中学年	小学校 高学年	中学生	その他の 学生	不明
総数	14	25	24	25	38	62	122
男性	7	11	14	11	19	34	64
女性	7	14	10	14	19	28	58

4 調査項目及び調査の時期

(1) 調査項目

本調査は、身体状況調査、栄養摂取状況調査及び生活習慣調査からなり、調査項目は以下のとおりである。

1) 身体状況調査

- ア 身長・体重（満6歳以上）
- イ 腹囲（満6歳以上）
- ウ 1日の運動量（歩行数）（満15歳以上）
- エ 運動の状況（満20歳以上）

2) 栄養摂取状況調査（満1歳以上）

- ア 世帯の状況：氏名、生年月日、性別、妊産婦（週数）・授乳婦の別、
仕事の種類
- イ 食事状況：朝・昼・夕食別、家庭食・外食・欠食の区分
- ウ 食物摂取状況：料理名、食品名、使用量、廃棄量、世帯員ごとの案分比率
（朝・昼・夕・間食別）

3) 生活習慣調査①及び②（満20歳以上）

食生活、身体活動・運動、休養（睡眠）、飲酒、喫煙、歯の健康等に関する生活習慣全般を質問紙調査により把握した。

(2) 調査時期

身体状況調査：平成22年11月中の1日

栄養摂取状況調査：平成22年11月中の1日（日曜日及び祝日は除く）

生活習慣調査：栄養摂取状況調査と同日に実施

5 調査の要領

(1) 調査員の構成

調査員は知事が任命し、医師、管理栄養士、保健師、事務担当者等をもって構成した。

(2) 調査票の様式

- ア 身体状況調査票（9ページ参照）
- イ 栄養摂取状況調査票（11ページ参照）
- ウ 生活習慣調査票①（16ページ参照）
- エ 生活習慣調査票②（27ページ参照）

(3) 調査方法

1) 身体状況調査

あらかじめ調査員が配布した調査票に被調査者本人が記入し、後日、調査員が回収する方法により行った。

身長、体重、腹囲については、測定方法を事前に説明して家庭で測定させた。

歩行数については、栄養摂取状況調査と同じ日に歩数計により計測させた。使用機器はアルネス200S（製品コードAS-200）とし、装置は朝起きたらすぐにベルトなどにクリップをしっかりと装着し、就寝まで測定させた。

運動習慣については、質問紙調査とした。

2) 栄養摂取状況調査

調査日は、祝祭日、冠婚葬祭その他特別に食物摂取に変化のある日を避け、被調査世帯においてなるべく普通の摂取状態にある日に実施し、被調査者の積極的協力を得るため、調査開始前に被調査地区の住民に対して調査の趣旨を十分説明した。調査員が栄養摂取状況調査票を各世帯に配布し、記入要領を十分説明したうえ、秤を用いて秤量記入させたが、使用量が少なく秤量困難なもの等については、目安量をもって記入させた。

また、調査員である管理栄養士等は、被調査世帯を直接訪問し、記入状況を点検するとともに不備な点の是正や記入の説明にあたった。

3) 生活習慣調査①及び②

あらかじめ調査員が配布した調査票に被調査者本人が記入し、後日、調査員が回収する方法により行った。

生活習慣調査は、栄養摂取状況調査と同じ日に実施した。

(4) 調査に関する秘密の保持

この調査は世帯や個人の私的なことに及ぶ場合もあるため、その個人情報の保護と管理に万全を期し、対象者に危惧の念をいだかせないように留意した。

6 集計及び作表方法

提出された調査票は、県立保健医療大学健康科学部栄養学科の協力を得て、健康福祉部にて結果の集計・解析を行った。

7 本書利用上の留意点

(1) 栄養素等摂取量の算出

栄養素等摂取量は「食事しらべ2010※」を用いて、「五訂増補日本食品標準成分表」（以下、「五訂増補成分表」という。）により算出した。

栄養素等摂取量は、調理後（ゆで、油炒め等）の成分値が五訂増補成分表に記載されている食品には、これを用いた。また、その他の食品については、五訂増補成分表に記載されている調理による「重量変化率」を加味して算出した。

※独立行政法人国立健康・栄養研究所栄養疫学プログラム国民健康・栄養調査プロジェクト、食事しらべ2010

(2) 食品群分類

食品群分類は、厚生労働省が実施する「国民健康・栄養調査」に従った。食品の重量は、調理を加味した数量となり、「穀類」の米は「めし」・「かゆ」など、「干しそば」は「ゆでそば」など、「藻類」の「乾燥わかめ」は「水戻しわかめ」など、「嗜好飲料類」の「茶葉」は「茶浸出液」などで算出した。

(3) 食事内容

次の区分により集計した。

①外食

飲食店での食事、及び家庭以外の場所で出前をとったり、市販のお弁当を買って食べるなど家庭で調理せずに、食べる場所も家庭ではない場合。

②調理済み食

すでに調理されたものを買ってきたり、出前をとって家庭で食べた場合（食事内容は「外食」と同じ）。

③給食

- ・ 保育所・幼稚園給食（教職員は、職場給食）
- ・ 学校給食（教職員は、職場給食）
- ・ 職場給食

④家庭食

家庭で作った食事や弁当を食べた場合。

⑤その他

- ・ 菓子、果物、乳製品、嗜好飲料などの食品のみを食べた場合
- ・ 錠剤などによる栄養素の補給、栄養ドリンク剤のみの場合
- ・ 食事をしなかった場合（欠食）

(4) 肥満の判定

BMI (Body Mass Index) を用いて判定した。

$$\text{BMI} = \text{体重kg} \div (\text{身長m})^2$$

肥満の判定基準は、下記のとおりである。

判定区分	低体重 (やせ)	普通	肥満
BMI	18.5未満	18.5以上25.0未満	25.0以上

日本肥満学会肥満症診断基準検討委員会報告 (2000年) より